

第8回
テーマ

子ども自身が「学校評価の4点セット」の内容と進捗、成長を実感

「地域とともにある学校」への転換に向け、「学校評価の4点セット」には学校・家庭・地域の取組が設定され、保護者、地域住民等の理解と参画を推進しています。今回は、さらに参画していく立場として「子どもたち」を入れた取組を紹介します。

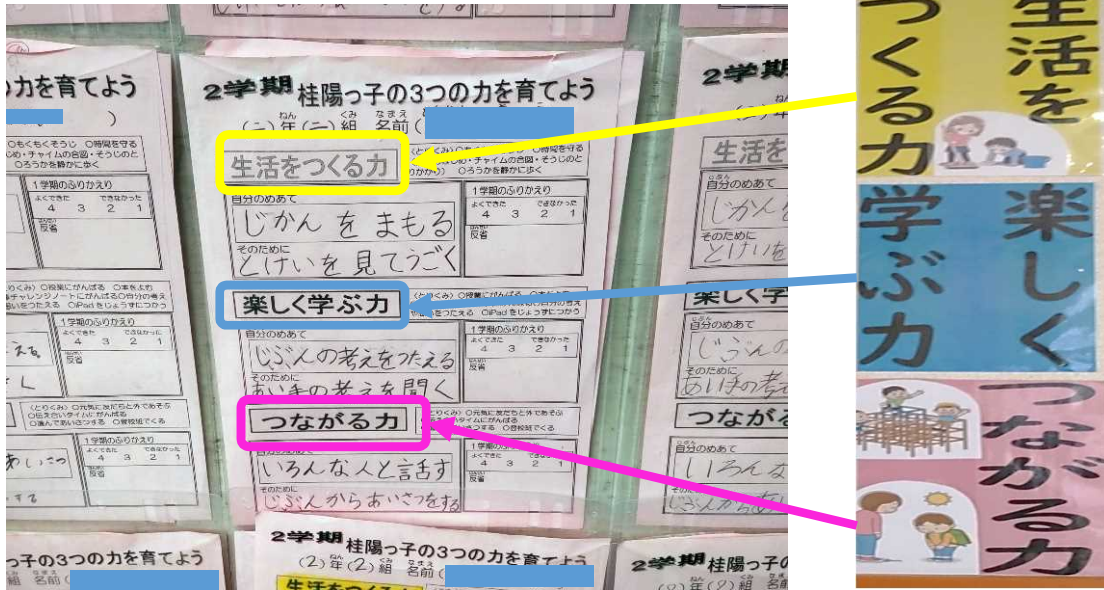


Point 1 「学校評価の4点セット」を児童玄関に可視化し、内容と進捗を実感



「学校評価の4点セット」を子どもたちが実感し主体的に参画

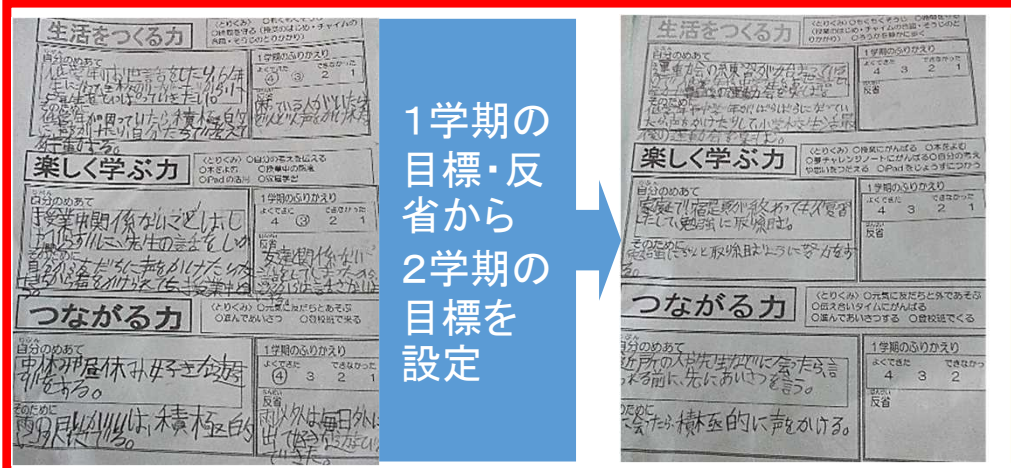
重点目標に沿っためあてをろうかや教室に掲示し、だれにでも共有できる環境を統一



「学校評価の4点セット」の3つの重点目標を、児童一人ひとりが意識し、学期ごとの個人目標を設定

学期ごとの振り返りを掲示し、友だちのがんばりを共有。

個人ごとにストックし、自身の成長を次に生かす。



カードの振り返りにより、子ども自身が当時の自分と比較し、成長を実感⇒自己理解・自己管理能力
校内掲示により、学校全体や学年・学級、個人の評価状況を確認⇒人間関係形成・社会形成能力

「自分で・自分たち」で目標管理を行う力を培う